

1級（和服）筆記問題

1. ゆかたの反物の布調べについて、文中の(1)・(2)に最も適する語句をアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

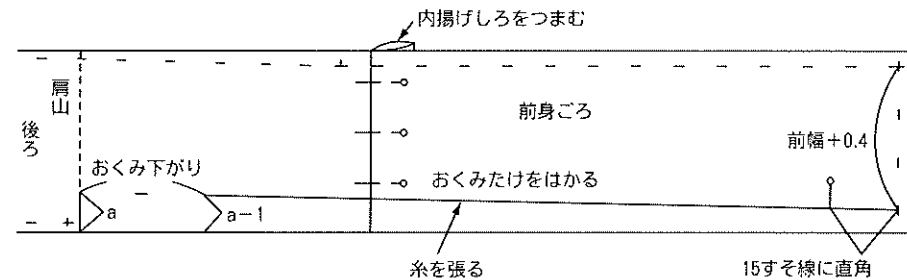
布の表裏に差がなく見分けにくいものは、(1)に1mくらいの間隔で糸じるしをつける。そのとき、染めむら・織りきずなどの有無を調べ、きずが大きいものは糸じるしをつけておき、裁断のときに(2)部分に持ってくる。

ア 布端 イ 布の中央 ウ 目立たない エ 直角

2. ウール地でひとえ長着を製作する場合、最も適する季節をアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

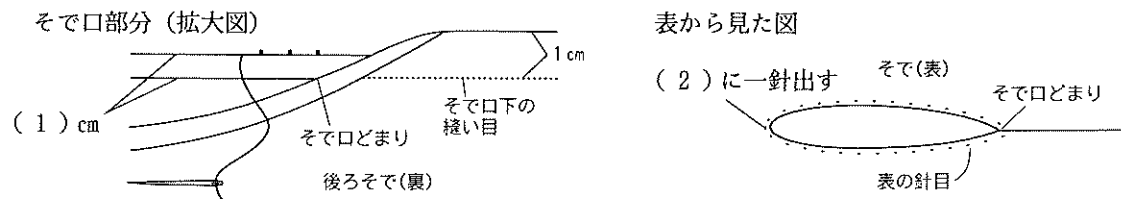
ア 春・秋・冬 イ 盛夏 ウ 初夏・初秋

3. 下図は男物ひとえ長着の前身ごろのしるしつけを示したものである。しるしつけの順序の正しいものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 内揚げのしるしをつまみ、まち針をうつ→おくみ下がり→前幅→おくみつけ
イ 前幅→おくみつけ→内揚げのしるしをつまみ、まち針をうつ→おくみ下がり
ウ おくみ下がり→前幅→おくみつけ→内揚げのしるしをつまみ、まち針をうつ

4. 下図はひとえ長着のそで口のしまつについて示したものである。図中の(1)・(2)に最も適する語句又は数字を解答欄に記入しなさい。また、この縫い方の名称を答えなさい。



5. 次の文は、女物ひとえ長着のくりこし揚げの縫い方について説明したものである。(1)・(2)に最も適する語句又は数字をアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

・揚げしろは0.1cmのきせをかけて(1)の方に折り、かくしじついで押さえるか、身ごろにくける。背縫いの(2)は返し針で押さえ、またがない。

ア きせ山 イ 縫いしろ ウ すそ エ 肩山

6. 次の文はひとえ長着のえりを身ごろに縫いつけた後のしまつについて説明したものである。(1)から(3)に最も適する語句を、アからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

縫いつけたえりには0.1cmのきせをかけて縫いしろを(1)側に折る。そのあと、えりをしっかりさせるために(2)にしんを入れる。このしんのことを(3)という。

ア えり肩あき イ 身ごろ ウ えり エ 力布 オ みつえりしん

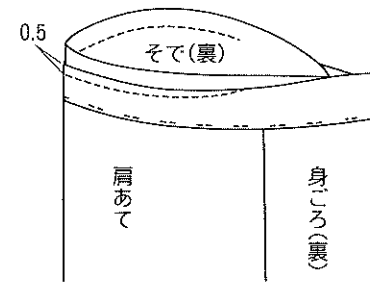
7. 右図は女物ひとえ長着のそでつけの縫い方を示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文はそでつけの方法を述べたものである。①から③に最も適するものをアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(同じ記号を二度使用してよい)

・そでは(①)を確認し、身ごろの縫いしろは折ったまま、そでの縫いしろは開いたままで中表に合わせ、(②)側よりまち針をうつ。図のように縫い合わせたあと、縫いしろは0.2cmのきせをかけて(③)の方に折る。

ア 身ごろ イ そで ウ 表裏 エ 左右 オ 中表

- (2) 図のようなそでつけ方法の名称を何というか。解答欄に記入しなさい。

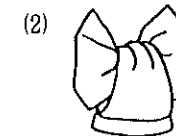
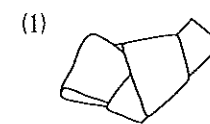


8. 次の文は女物ひとえ長着の縫い方について述べたものである。(1)・(2)に最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) おくみつけ縫いしろは {
ア おくみの方へ倒し三つ折りぐけをする。
イ おくみの方へ倒し耳ぐけをする。
ウ 前身ごろの方へ倒し耳ぐけをする。
エ 前身ごろの方へ倒し三つ折りぐけをする。

- (2) そで下縫いしろは {
ア 袋縫いにして前そでへ折る。
イ 袋縫いにして後ろそでへ折る。
ウ 二度縫いにして後ろそでへ折る。
エ 二度縫いにして前そでへ折る。

9. 次の(1)・(2)の帯結びの名称として最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



ア 文庫 イ ふくらすずめ
ウ 貝の口 エ お太鼓

1 級和服 (第62回)	問 題	1		2	3	4			5		6			7				8		9		
		(1)	(2)			(1)	(2)	鍵い方	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)			(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
														①	②	③						
	解 答																					
	得 点																					
	学校名					学年				組			番号			名前				合計		

1級（和服）筆記問題

1. 次の(1)・(2)は和服の製作に関する用語の説明である。最も関係のある用語をアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) そでつけどまり、えり先などを丈夫にとめる方法。表裏左右など四枚の布をとめる。
(2) 「きせ」を押さえる目的に使われるしつけの一種で、着る時もとらない。布と同色の縫い糸で、表にごく小針を出して縫う。

ア すくいどめ イ かくしじつけ ウ 四つどめ エ 糸じるし

2. 夏用のひとえ長着として適する布地を、アからカまでのの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

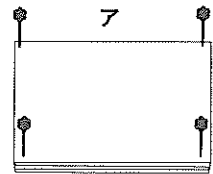
ア ゆかた地 イ 綸子 ウ 綿ネル エ シルクウール オ めいせん カ 紹

3. 次の文は男物ひとえ長着について述べたものである。(1)・(2)に最も適するものをアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

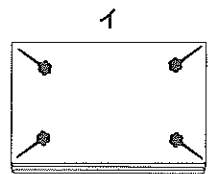
- ・えり先の部分は、かたい感じに仕上げるために（ 1 ）をつける。
・女物のふりにあたる部分は（ 2 ）といい、縫いつめる。

ア 身八つ口 イ 人形 ウ 内揚げ エ 裏えり オ 身たけ

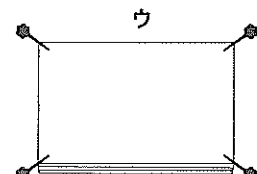
4. しるしつけの準備について、まち針で四すみをとめる方法として最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



まち針は垂直にさす



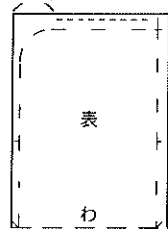
まち針は内側からやや斜めにさす



まち針は外側からやや斜めにさす

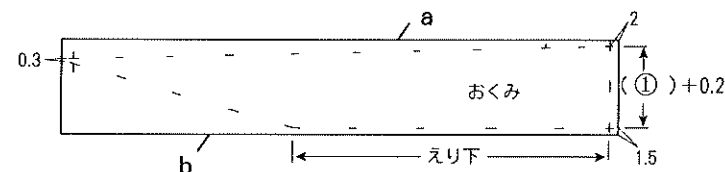
5. 右図はそで下袋縫いの中縫いと丸みのしまつである。(1)・(2)に最も適する数字又は語句を解答欄に記入しなさい。

丸み寸法+(1) cm



(2) そで(裏)

6. 下図はひとえ長着のおくみのしるしつけを示したものである。次の各問に答えなさい。

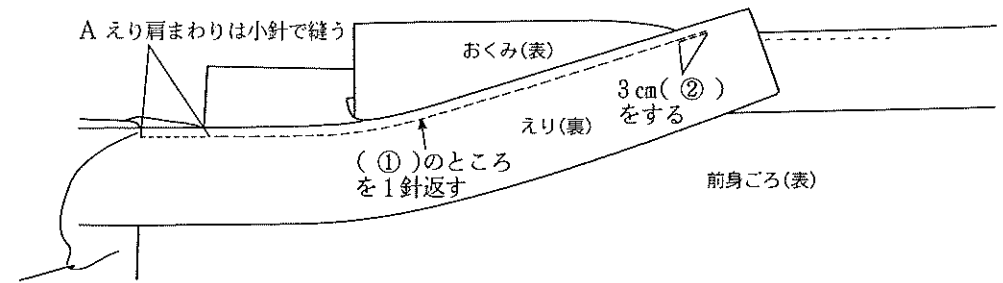


(1) ①に最も適する語句をアからオまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 合いづま幅 イ 後ろ幅 ウ 前幅 エ おくみ幅 オ えり幅

(2) 布の耳は図中の a・b のどちらか、解答欄に記入しなさい。

7. 下図は手縫いでひとえ長着を製作する場合のえりの縫い方を示している。次の(1)・(2)の問に答えなさい。



(1) 図中の①・②に最も適する語句をアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア けん先 イ 背縫い ウ 肩先 エ 半返し縫い オ かがり縫い

(2) 図中Aのえり肩まわりを小さい針目で縫う目的として最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア えりにゆるみを入れないため、小さい針目で縫う
イ えりに平均的なゆるみを入れるため、小さい針目で縫う
ウ えりに張りをもたせるため、小さい針目で縫う

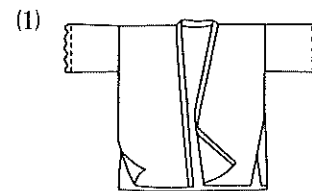
8. 手縫いでひとえ長着を製作するとき、すくいどめでしっかり縫いつけなければならないところをアからオまでのの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア けん先位置 イ 身八つ口どまり ウ そで下縫いどまり エ そで口どまり
オ つま先

9. 次の文は女物ひとえ長着の縫い方について述べたものである。文中の(1)・(2)に最も適する語句又は数字を解答欄に記入しなさい。

- ・えりつけのきせは、(1) cm程度とする。
・背縫いは、(2) をし、左身ごろ側に倒す。

10. 下図の(1)・(2)の和装品の名称について、最も適するものをアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



ア 長じゅばん
イ 肌じゅばん
ウ 帯板
エ 帯じめ
オ 帯あげ

1級和服(第61回)	問題	1		2	3		4	5		6		7			8	9		10	
		(1)	(2)		(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)		(2)	(1)	(2)	
	解答											①	②						
		得点																	
			学校名					学年			組			番号			名前		
																合計			

1 級（和服）筆 記 問 題

1. 次の(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

和服は（ 1 ）そのものの流行は少なく、洋服と比較すると、（ 2 ）にとぼしいが、布地の（ 3 ）や織の種類・色・柄に重点が置かれ、帯や付属品との取り合わせで独特の着装美が作り出される。

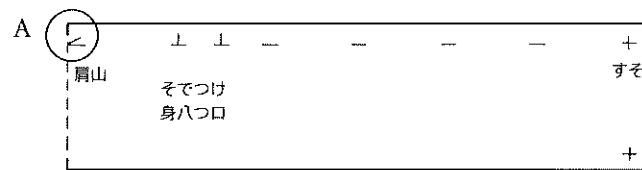
ア 変化 イ 形 ウ ひも エ 染め オ ゆかた

2. 女物ひとえ長着の前幅の標準寸法の割り出し方法について、最も適切なものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

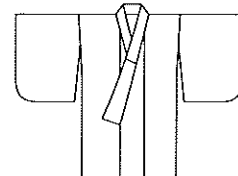
ア 腰囲 $\times \frac{1}{2} - 6 \text{ cm} - \text{おくみ幅}$ イ ゆき $\times \frac{1}{2} + 1 \text{ cm}$ ウ ゆき $\times \frac{1}{2} - 1 \text{ cm}$

3. 女物ひとえ長着について、(1)・(2)の問いに答えなさい。

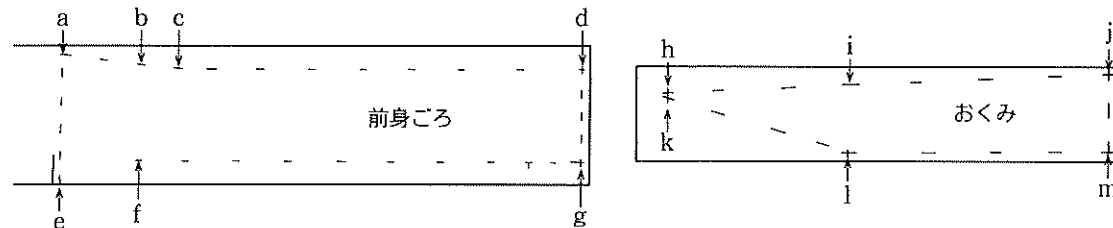
(1) 下図のAのしるしつけの名称



(2) 下図のえりの名称



4. 下図は女物ひとえ長着の前身ごろとおくみのしるしつけを示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。



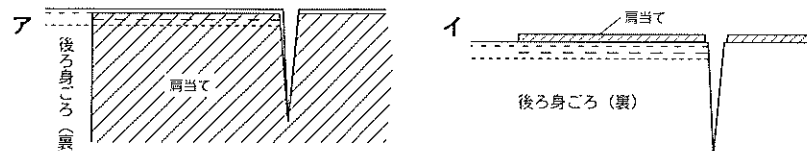
- (1) しるしつけをした後で、寸法を測る箇所がある。アからエまでのの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア kからlまで イ hからjまで ウ fからgまで エ eからfまで

- (2) えりのしるしつけをするときに必要な寸法を、アからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア lからmまで イ kからlまで ウ aからeまで

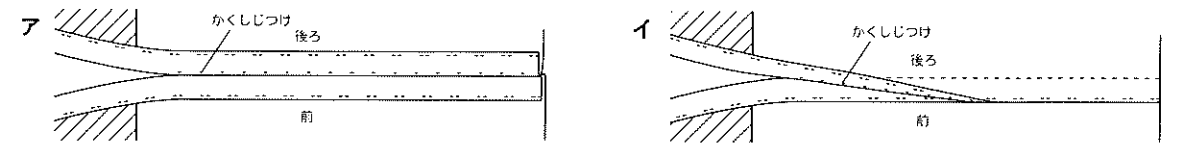
5. 肩当て布と身ごろの背縫いの中とじて正しいものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



6. 女物ひとえ長着のえりのくけ方について(1)・(2)に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。

えり先のしまつが終わったら、表に返してえり幅を整え、0.8cmの針目で（ 1 ）をする。えり肩まわりは（ 2 ）にくける。えり先は2～3cm返しぐけをする。

7. 下図は女物ひとえ長着のわき縫いしろのしまつの方法を示したものである。内揚げがなく縫いしろが多いときはア・イのどちらが適するか。記号を解答欄に記入しなさい。



8. 次の文はそでの縫い方を説明したものである。(1)・(2)について最も適するものをそれぞれのアからウまでのの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

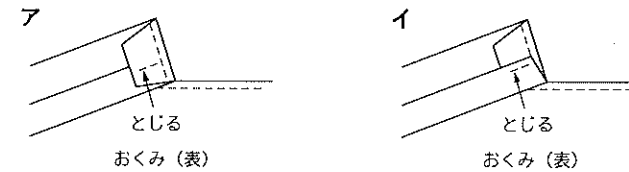
(1) そで口の三つ折りぐけをするときの折り幅は（ ア 0.8cm イ 0.5cm ウ 0.2cm ）である。

(2) そでつけ後のふりのしまつは（ ア 袋縫い イ かくしじつけ ウ 耳ぐけ ）をする。

9. 次の(1)・(2)の縫いしろを折る方向について、それぞれのア・イの中から正しいものを選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) おくみつけ ア おくみ イ 前身ごろ
(2) そでつけ（折りつけ） ア 身ごろ イ そで

10. 女物ひとえ長着のえり先のしまつで正しいものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



11. 次の文の(1)・(2)に最も適するものをアからウまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

和服のコーディネートは、きものの格と帯の格を同等にするのが基本である。したがって、正式な場合に着用する留袖や振袖には（ 1 ）を、略式な場合に着用する訪問着や付け下げには（ 1 ）や華やかな印象の（ 2 ）を合わせるのが適切である。

ア 袋帯 イ 名古屋帯 ウ 半幅帯

問 題	1			2	3		4		5	6		7	8		9		10	11	
	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)
1 級 和 服 (第 60 回)																			
解 答																			
得 点																			
学 校 名					学 年		組		番 号		名 前		合 計						

1 級和服 (第59回)	問 題	1		2	3	4		5		6	7			8		9	10			11						
		(1)	(2)			(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)		(2)	(1)	(2)							
						cm	cm																			
得 点																										
学校名						学年				組				番号				名前					合計			

1 級（和服）筆 記 問 題

1. 次は男物ひとえ長着について述べたものである。(1)から(3)に最も適するものをアからカまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・身たけは、おはしりをにつけないで、(1) に仕立て、ついたけで着る。
- ・縫い直しを考えて、帯で隠れる位置に (2) をする。
- ・男子は帯を低くしめるため、そでつけは女物より (3) 。

ア 短い イ 長い ウ 着たけ エ 身たけ オ 内揚げ カ くりこし揚げ

2. 次の文は女物ひとえ長着の形と各部の名称について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

身ごろとそでは、肩山とそで山が (1) で前後に続いており、ゆったりと前で打ち合わせるために (2) がつく。身ごろのたけの約 (3) の位置までえりが左右続けて長くつく。

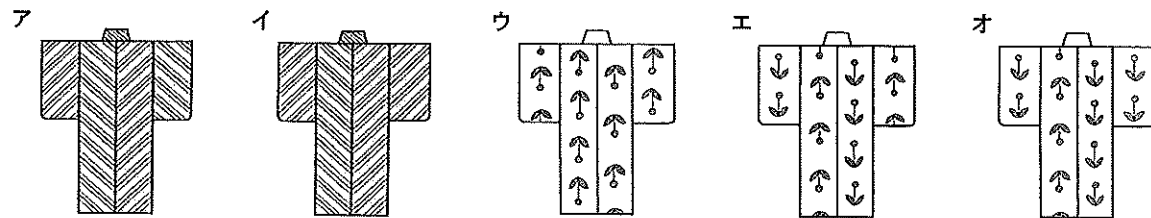
ア 半分 イ 1/3 ウ わ エ くりこし オ おくみ

3. 次の文は帯の特徴について述べたものである。(1)・(2)に最も適するものをアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

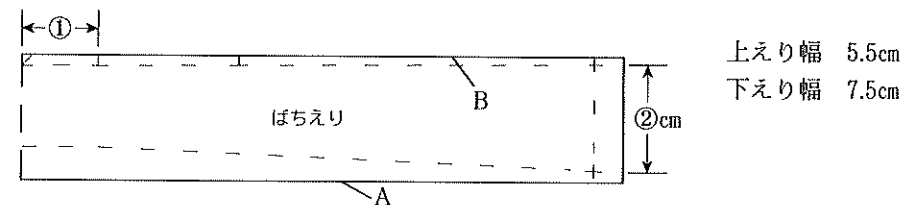
- (1) 全体を半幅で仕立てた帯。丸帯と同様に仕立てたものと、ひとえに織ったものがある。
- (2) 幅7～10cmの細い帯。帯しんを入れてあわせに仕立てたものと、ひとえに織ったものがある。

ア 兵児帯 イ 半幅帯 ウ 角帯 エ 袋帯 オ 名古屋帯

4. 下図は和服の柄合わせについて示したものである。最も適するものをアからオまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



5. 下図は女物ひとえ長着のばちえりのしるしつけである。次の問いに答えなさい。



- (1) ①の寸法の名称をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア えり肩まわり イ おくみ下がり ウ おくみつけ寸法

- (2) ②に最も適する数字を解答欄に記入しなさい。

- (3) 裁ち目となる方をA・Bどちらか選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

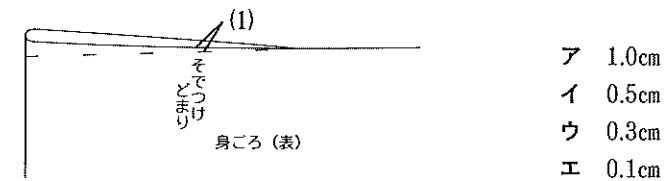
6. 女物ひとえ長着にさらしもめん45cmのいしき当てをつけるとき、その回り（上・下・左右）の縫い方で最も適するものを、アからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

上	下	左右
ア 折りぐけ	伏せ縫い	耳ぐけ
イ 折りぐけ	折りぐけ	三つ折りぐけ
ウ 伏せ縫い	三つ折りぐけ	本ぐけ
エ 耳ぐけ	伏せ縫い	本ぐけ

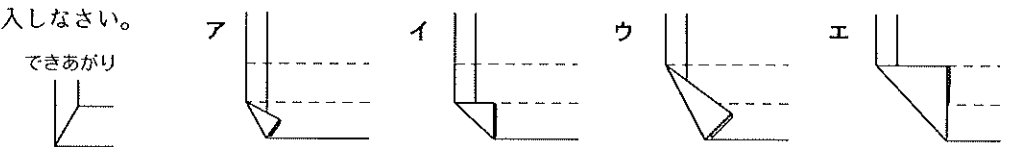
7. 次の文は女物ひとえ長着の縫い方について述べたものである。文中の () に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。

- (1) おくみつけ縫いしろのしまつは、() にする。
- (2) えりぐけは、() にする。
- (3) すそぐけでは、背縫い・わき・おくみの各縫い目の () で1針くけ返す。

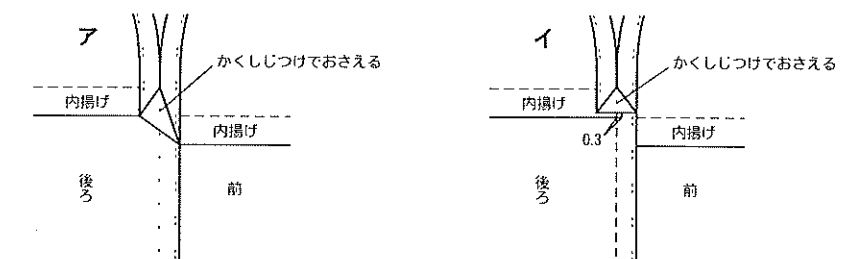
8. 下図は女物ひとえ長着のそでつけを折りつけにする場合の縫いしろの折り出し方を示している。(1)に最も適する寸法をアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. 下図のようにつま先を仕上げる場合、折り方で最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



10. 下図は男物ひとえ長着のわき縫いしろのしまつである。内揚げの多い場合はア・イのどちらが適するか、記号を解答欄に記入しなさい。



1 級和服 (第58回)	問 題	1			2			3		4	5			6	7			8	9	10
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)		(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)			
	解 答																			
得 点	学校名																			
		高校			学年			組		番号			名前			合計				

1 級（和服）筆 記 問 題

1. 次の文は和服の寸法の決め方について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ゆきは手を水平に上げ、(1)の首の付け根から(2)のくるぶしまではかる。着丈は首の付け根から(3)のくるぶしの高さまでを後ろ中心ではかる。

ア 首 イ 手首 ウ 背中心 エ 足 オ 後ろ幅

2. ゆかたの反物の布調べについて、文中の(1)から(3)に最も適するものをアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

布の表裏に差がなく見分けにくいものは、布端に1mくらいの間隔で(1)をつける。そのとき、染めむら・織りきずなどの有無を調べ、きずが大きいものは(1)をつけておき、裁断のときに(2)部分に持ってくる。同時に、布の幅と(3)を確認しておく。

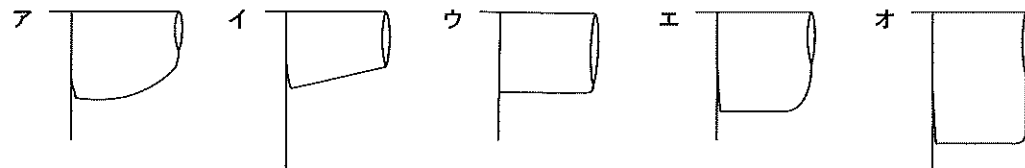
ア 糸じるし イ 布の中央 ウ 直角 エ 目立たない オ 長さ

3. 次の文は和服の柄合わせについて述べたものである。(1)・(2)に最も適する語句をアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

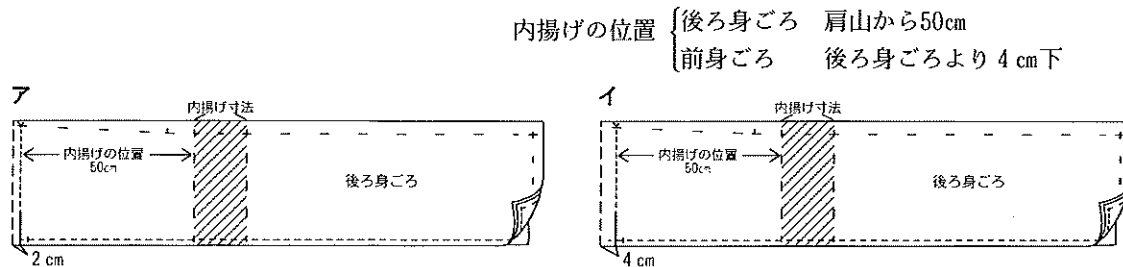
和服を製作するとき、特に柄の大きいものは、その配置のしかたによってまったく異なった感じになるので、背縫い合わせ、身ごろと(1), おくみと(2)の柄合わせに注意するとよい。

ア えり イ 左前身ごろ ウ 右前身ごろ エ そで

4. 下図は和服のそでの形を示したものである。アからオまでのの中から「たもとそで（長そで）」に該当するものを一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



5. 下図は男物ひとえ長着の身ごろのしるしつけを示したものである。内揚げのしるしを後ろ身ごろと前身ごろと同時につけるためには、身ごろの布をどのように配置するとよいか、最も適するものをア・イの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



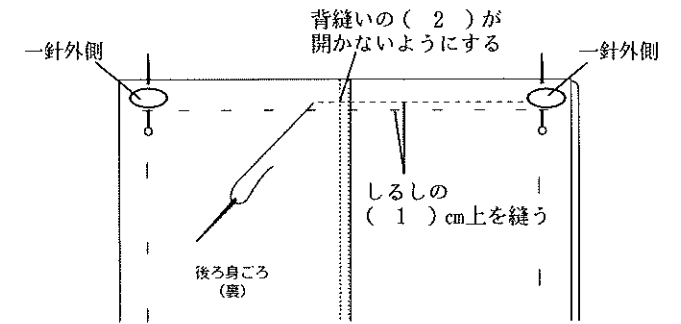
6. 次の(1)から(3)の女物ひとえ長着のできあがり標準寸法について、最も適する寸法を、アからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) そでつけ (2) えり肩あき (3) 身八つ口

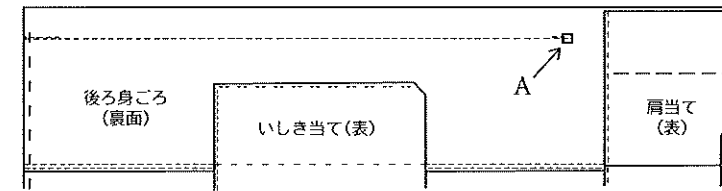
ア 38～45cm イ 27～31cm ウ 21～23cm エ 13cm オ 8.5cm

7. 次の文は女物ひとえ長着のくりこし揚げの縫い方について説明したものである。(1)・(2)に最も適する語句又は数字を解答欄に記入しなさい。

・わき縫いしるしの一針外側から、くりこし揚げのしるしの(1)cm上を縫う。このとき、背縫いの(2)が開かないようにする。



8. 下図は女物ひとえ長着のわきの縫い方を示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。



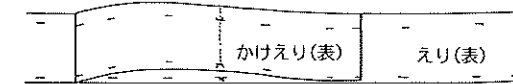
- (1) わきの縫い方の手順について述べた文中の①・②に最も適する語句又は数字をアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

縫いしろは(①)cmのきせをかけ、前身ごろ側に倒し、(②)でしまつする。

ア 1.0 イ 0.5 ウ 0.2 エ 本ぐけ オ 耳ぐけ

- (2) 補強のためにつけるAの布の名称を解答欄に記入しなさい。

9. 下図のように、かけえりを本えりにあらかじめつけてから、一緒にえりつけをする方法を何というか、名称を解答欄に記入しなさい。



10. ゆかた地でひとえ長着を仕立てるとき、そで下の縫いしろのしまつとして最も適するものを、アからエまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

そで下縫いしろは

- ア 二度縫いにして前そでへ折る
- イ 二度縫いにして後ろそでへ折る
- ウ 袋縫いにして前そでへ折る
- エ 袋縫いにして後ろそでへ折る

1 級 和 服 (第57回)	問 題	1			2			3		4	5	6			7		8			9	10
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(2)		
	解 答																				
得 点	cm																				
学 校 名	高 校	学 年	組	番 号	名 前	合 計															

1級（和服）筆記問題

1. ひとえ長着の男物と女物の特徴について述べたもののうち、正しいものをアからオまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

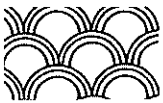
- ア おくみ下がりの標準寸法は、男物と女物は同じである
イ 着たけの調節は男物は内揚げをするが女物はおはしよりをする
ウ わき縫いしろのしまつは、男物は全部開き、女物は斜めに折り山をとじる
エ 男物には人形があるが女物には人形の位置がふりになっている
オ 女物の身八つ口のかわりに男物には人形がある

2. 和裁に使われる用語の説明の(1)・(2)に最も適するものをアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 前と後ろ又は右と左などの双方の布地がどちらへも控えられずに突き合わせになっていること
(2) 着るとちょうどよい着たけに仕立てられた衣服たけ

- ア 毛抜き合わせ イ 肩当て ウ 内揚げ エ きせ オ ついたけ

3. 下図の和服の柄の名称をアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 唐草 イ 青海波 ウ 七宝 エ さや型

4. 次の(1)・(2)は和服地の幅と長さである。一般的な寸法を、アからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 並幅 (2) 着尺

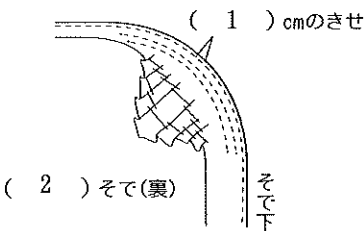
- ア 18cm イ 72cm ウ 36～38cm エ 12m オ 9m

5. 次の文は後ろ身ごろしるしつけの際の布のそろえ方について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

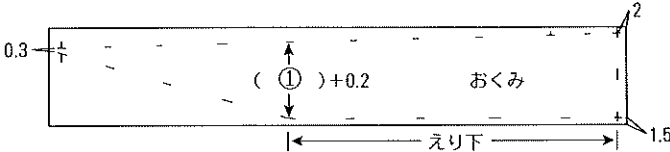
身ごろを中表に2枚合わせ、後ろ身ごろが（ 1 ）、背が（ 2 ）になるようにしてたけを二つ折りとし、肩山を（ 3 ）に布を正しくそろえておく。

- ア 右 イ 左 ウ 下 エ 上 オ 手前 カ 奥

6. そでの丸みのしまつの(1)・(2)にあてはまる語句又は数字を解答欄に記入しなさい。



7. 下図はひとえ長着のおくみを示したものである。(1)・(2)の問いに答えなさい。

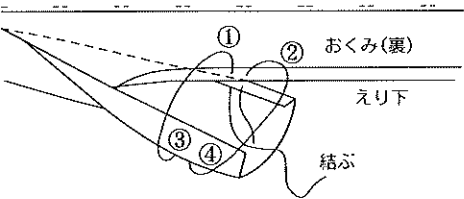


(1) ①に最も適する語句をアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア おくみ幅 イ えり幅 ウ 合づま幅 エ 前幅

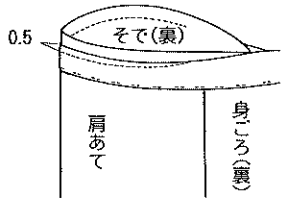
(2) 図中の「えり下」に最も適する縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。

8. 下図は女物ひとえ長着のえり先のとめ方を示したものである。正しくとめる順序をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア ② ④ ③ ①
イ ② ③ ④ ①
ウ ① ④ ③ ②

9. 下図は女物ひとえ長着のそでつけの縫い方を示したものである。(1)・(2)の問いに答えなさい。



(1) 次の文の①から③に最も適するものをアからエまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。(同じ記号を二度使用してよい)

そでは左右を確認し、身ごろの縫いしろは折ったまま、そでの縫いしろは開いたままで（ ① ）に合わせ、（ ② ）側よりまち針をうつ。図のように縫い合わせたあと、縫いしろは0.2cmのきせをかけて（ ③ ）の方に折る。

- ア 中表 イ 外表 ウ そで エ 身ごろ

(2) 図のようなそでつけの名称は何というか。

10. 夏用のひとえ長着として適する布地を、アからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

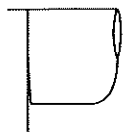
- ア 絹 イ シルクウール ウ 綿ネル エ めいせん

1 級和服 (第56回)	問 題	1		2		3	4		5			6		7		8	9				10	
				(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)			(2)		
																	①	②	③	(2)		
学校名		高校			学年				組				番号				名前			合計		

文部科学省後援
第55回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和4年度）
1級（和服）筆記問題

1. 平面構成に関係のあるものをアからオまでのの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
- ア ダーツ、ギャザー、タックなどがある
イ 直線裁ち、直線縫いが多い
ウ 縫いしろは、裁ち切らないで、折り込んで落ちつかせる
エ 布をいせる、のばすなど、くせとりをする
オ 立体を生かした収納をする

2. 下図のそでの名称に最も適するものをアからエまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



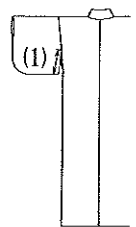
- ア 元ろくそで イ 広そで
ウ 長そで エ 筒そで

3. 次の(1)・(2)は和服の製作に関する用語である。最も関係のある説明をアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

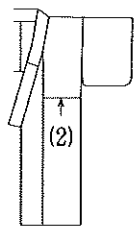
- (1) 糸こき (2) かくしじつけ
- ア 表地と裏地が離れるのを防ぐため、縫いしろどうしをとじあわせること
イ 縫っている途中で糸がなくなった場合の処理である。その部分がほころびの原因や見苦しくならないように適切な方法を選ぶ
ウ 「きせ」を押さえる目的に使われるしつけの一種で、着る時もとらない。布と同色の縫い糸で、表にごく小針を出して縫う
エ 二枚以上の布を中表に合わせて、しるしどおりに縫うこと
オ 運針やまつり縫いの途中又は終了したあと、糸のつれやたるみをなくすため、指先でしごいて縫い目を平らにすること

4. 右図は女物と男物のひとえ長着のできあがり図である。
(1)・(2)の名称を解答欄に記入しなさい。

女物ひとえ長着



男物ひとえ長着



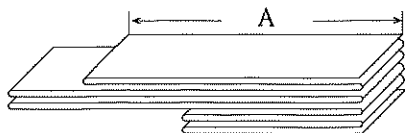
5. ひとえ長着の裁断について、次の問いに答えなさい。

- (1) 裁ち切り寸法の決め方について、①・②に最も適する語句をアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・裁ち切りそでたけ＝そでたけ＋（ ① ）縫いしろ
・裁ち切り身たけ＝身たけ＋（ ② ）くけしろ＋くりこし

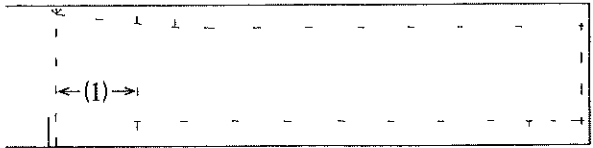
- ア えり下 イ そで口 ウ そで下 エ すそ オ おくみ

- (2) 下図のAにあてはまるものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



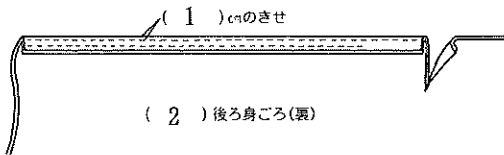
- ア 裁ち切り身たけ
イ 裁ち切りそでたけ
ウ 裁ち切りおくみたけ

6. 女物ひとえ長着の身ごろのしるしつけを示した下図の(1)・(2)に最も適するものをアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、解答欄に記入しなさい。



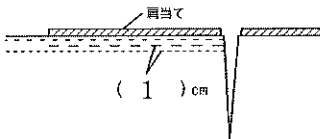
- ア 後ろ幅＋0.4cm イ 前幅＋0.4cm
ウ そでつけ エ おくみ下がり
オ 身八つ口

7. ひとえ長着の背縫いのきせのかけ方について、図中(1)・(2)に最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 0.2 イ 0.1
ウ 左 エ 右

8. 肩当てつけを示した下図と説明の(1)・(2)に最も適する語句又は数字を解答欄に記入しなさい。



身ごろと肩当ての背縫いを合わせ、背縫いの位置より（ 1 ）cm上の位置で縫うことを（ 2 ）という。肩当ての下端を2度すくって、しっかりとめる。

9. おくみつけの方法について述べた次の文の(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

おくみつけは（ 1 ）とおくみを中表にあわせ、（ 2 ）側からつり合いよくまち針をうつ。すそは5cm返し縫い、（ 3 ）では小針に1針返して、縫い込みの方へ斜めに縫い返す。

- ア けん先 イ 後ろ身ごろ ウ 前身ごろ エ おくみ オ つま先

10. ゆかた地で女物ひとえ長着を仕立てるとき、わき縫いしろのしまつについて、最も適するものをアからエまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 三つ折りぐけ イ よりぐけ ウ 本ぐけ エ 耳ぐけ

問 題	1	2	3		4		5		6		7		8		9			10
			(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	
			①	②														
1級和服(第55回)	解 答																	
得 点																		
学校名	高校			学年		組		番号		名前		合計						

1 級（和服）筆 記 問 題

1. 次の文は衣服の構成について述べたものである。(1)・(2)に最も適する語句を、アからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

和服は、細長く織られた布を長方形に裁断し、人体をおおうことができるように直線で縫い合わせた（ 1 ）構成の衣服である。人体に合わせるためにはひもや帯が必要である。裏を付けて仕立てたものを（ 2 ）という。

ア 立体 イ ひとえ ウ 帯 エ あわせ オ 平面

2. 夏用のひとえ長着として適する布地を、アからオまでのの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア シルクウール イ 綿ネル ウ 絹 エ 上布 オ めいせん

3. 女物ひとえ長着の身たけについて、次の(1)・(2)に最も適するものをアからエまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

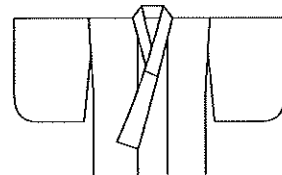
- (1) 身たけと着たけの差の部分は何というか。

ア 着たけの余裕 イ 内揚げ ウ 前下がり エ おはしより

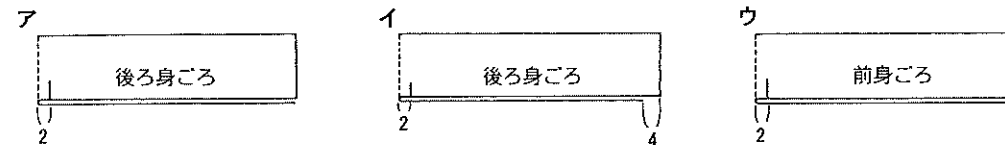
- (2) 身たけを着たけより長くする寸法としてどれくらい必要か。その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 5～10cm イ 10～15cm ウ 25～30cm エ 35～40cm

4. 右図は女物長着のえりの形を示したものである。名称を解答欄に記入しなさい。



5. 下図は女物ひとえ長着のくりこしのつけ方を示したものである。くりこし揚げをしない場合のくりこしのつけ方で正しいものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

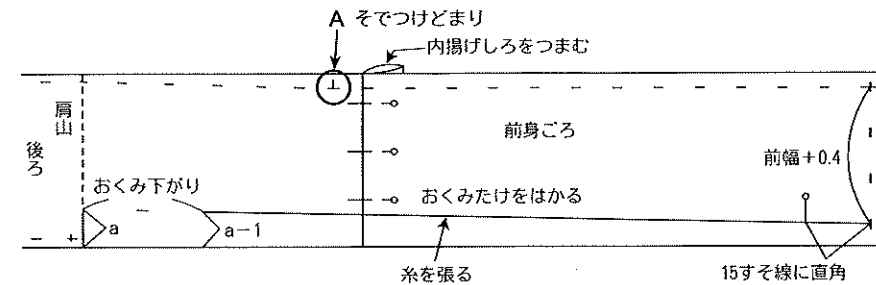


6. 肩当ての作り方について、(1)から(4)に最も適する語句または数字をアからコまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

肩当て布2枚を中表に合わせて、たけを二つ折りにしてしるしをつけ、（ 1 ）をあける。肩当ての背を縫い、身ごろの背縫いと（ 2 ）に折る。前後の下はしを折って、（ 3 ）をする。前中心から（ 4 ）cmは縫い残す。

ア 3 イ 5 ウ 8 エ えり肩まわり オ えり肩あき カ 本ぐけ
キ 伏せ縫い ク 耳ぐけ ケ 反対側 コ 同じ方向

7. 男物ひとえ長着の前身ごろのしるしつけについて、(1)・(2)の問いに答えなさい。



- (1) しるしつけの順序の正しいものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 前幅→おくみつけ→内揚げのしるしをつまみ、まち針をうつ→おくみ下がり
イ おくみ下がり→前幅→おくみつけ→内揚げのしるしをつまみ、まち針をうつ
ウ 内揚げのしるしをつまみ、まち針をうつ→おくみ下がり→前幅→おくみつけ

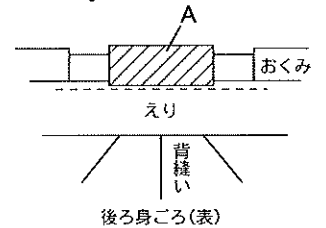
- (2) Aのしるしつけの名称を解答欄に記入しなさい。

8. 右図はひとえ長着のえりにしんを入れた部分である。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 図中Aのしんの名称を解答欄に記入しなさい。

- (2) 図中Aのしんを入れる目的をアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア かけえりをつけやすくするため
イ えりをしっかりさせるため
ウ えりがつれないようにするため



9. 次の文は女物ひとえ長着の縫い方について述べたものである。(1)・(2)に最も適する語句を、アからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ふりのしまつは、（ 1 ）にする。
・背縫いは、（ 2 ）にし、左身ごろ側に倒す。

ア 袋縫い イ 二度縫い ウ すくいどめ エ 耳ぐけ オ 三つ折りぐけ

10. 次の文の(1)・(2)に最も適するものをアからウまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

和服のコーディネートは、きものの格と帯の格を同等にするのが基本である。したがって、正式な場合に着用する留袖や振袖には（ 1 ）を、略式な場合に着用する訪問着や付け下げには（ 1 ）や華やかな印象の（ 2 ）を合わせるのが適切である。

ア 名古屋帯 イ 半幅帯 ウ 袋帯

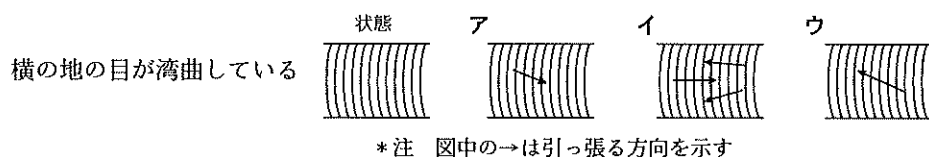
1 級 和 服 (第54回)	問 題	1		2	3		4	5	6				7		8		9		10	
		(1)	(2)		(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
		解 答																		
得 点																				
学校名	高校		学年		組		番号		名前		合計									

文部科学省後援
第53回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和3年度）
1級（和服）筆記問題

1. 次の文は和服について述べたものである。アからオまでのの中から正しいものを二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

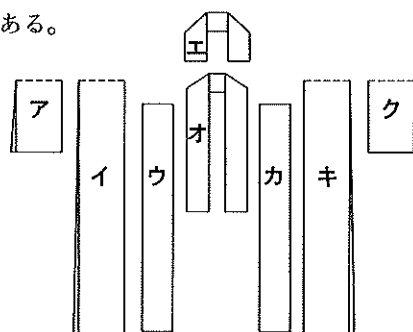
- ア 和服用の布地は、一般に反物を用い、一反は並幅36～38cm、長さは11～12mである
イ 裏地をつけた長着をひとえ長着という
ウ 和服は一反の布を数種の長方形に裁断し、縫い合わせ、余分の縫いしろはすべて切って仕上げる
エ 和服の形は、上前になる左身ごろが大きめにできている
オ 和服の形は長方形の布で構成され、男女による差も少ない

2. ゆかた地を用意したところ下図のような布目のゆがみがあった。地直しの方法で最も適するものを、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



3. 右図は前から見たひとえ長着の基本的な各部の構成図（外表）である。

- (1)・(2)の問いに答えなさい。
- (1) エの名称を解答欄に記入しなさい。
- (2) 上前身ごろをアからクまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



4. 次は女物ひとえ長着の布の見積もり方である。(1)・(2)に最も適する数字を解答欄に記入しなさい。

総用布=裁ち切りそでたけ×4+裁ち切り身たけ×4+裁ち切りおくみたけ×2

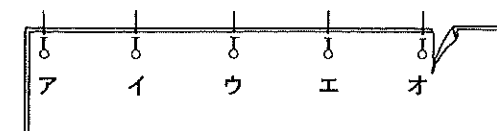
裁ち切りおくみたけ＝裁ち切り身たけ－（ 1 ） cm

裁ち切りえりたけ=(でき上がり身たけ-えり下+16cm)×(2)

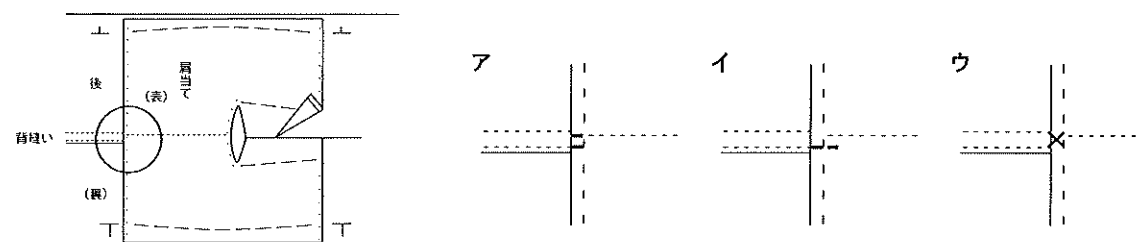
5. 次の文はそでの縫い方を説明したものである。(1)から(3)について最も適するものを、それぞれのアからウまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) そで口の三つ折りぐけをする時の折り幅は、(ア 0.8cm イ 0.5cm ウ 0.2cm)である。
- (2) そで下の縫い方は、(ア 耳ぐけ イ 袋縫い ウ 三つ折りぐけ)である。
- (3) 丸みの縫いしろは、(ア 後ろそで イ 前身ごろ ウ 前そで)にとめる。

6. ひとえ長着の背縫いにまち針を打つ時、2番目に打つ位置で最も適するものをアからオまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



7. 身ごろと肩当ての背縫いしろをとじる際、肩当ての下はしのとめ方で最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



8. 女物ひとえ長着のえりのくけ方について、(1)から(3)に最も適する語句または数字をアからキまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

えり先のしまつが終わったら、表に返してえり幅を整え、(1) cmの針目で(2)をする。えりつけの縫い目のきわとえりの折り山より(3) cm内側をくける。えり肩まわりは小針にくける。

- ア 0.1 イ 0.2 ウ 0.5 エ 0.8 オ 折りぐけ
カ 本ぐけ キ 三つ折りぐけ

9. 手縫いでひとえ長着を製作するとき、すくいどめでしっかり縫いつけなければならないところをアからカまでの中から三つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 身八つ口どまり イ つま先 ウ そで口どまり エ そで下縫いどまり
オ けん先位置 カ そでつけどまり

10. 次の(1)・(2)の縫いしろを折る方向について、それぞれのア・イの中から正しいものを選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) そでつけ (折りつけ) ア 身ごろ イ そで
(2) おくみつけ ア 前身ごろ イ おくみ

1 級 和 服 (第53回)	問 題	1		2	3		4		5			6	7	8			9			10	
					(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)			(1)	(2)	(3)				(1)	(2)
		解 答																			
得 点																					
学校名	高校				学年		組		番号		名前				合計						